

浅緑燃ゆる

(昭和二十二年第四十回記念祭歌)

山家貫之君 作歌
堀井洵君 作曲

一

浅緑燃ゆる北の曠里
荒ぶ嵐を身に受けて
神秘の扉開け放ち
雄叫び高く濁世に
叱咤の剣を振るふかな

二

沈黙の榆林のほの暗く
友と高望を語りてし
三年の夢は淡くとも
羽搏かんな大鳳は
アンデスの嶺越えゆかん

三

ソロモンの栄華すでになし
血涙もて築きし幾春秋
花を褥に仮睡めば
春駘蕩の微風の香に
私語く永遠の理想かな

四

北斗の啓示なほ清く
今宵四寮に輝けば
猛き遊兎の熱血は
ナイルの河のなほ浩く
乱れし世をば呑みほさん

五

青史は薫る七十星霜の
崇高き歴史を承継ぎて
明日創造の首途に
今日四十回の記念祭
浩歌はんな吾が友よ